



西中学校 エイサー部



私たちの部活は市内で唯一のエイサー部で、3年生11人、2年生5人、1年生3人の計19人が所属しています。

エイサーとは、沖縄県や鹿児島県の奄美群島の伝統芸能で、体に抱えた太鼓を打ち鳴らしながら、集団で勇壮に踊る「太鼓エイサー」が有名です。

独特のリズムや複雑な振り付けは、なかなか覚えるのが難しいですが、秋にある市内の小・中学校合同の「学習発表会」に向け、技術を磨き、全員の気持ち合わせられるよう練習に励んでいます。

さやまの教育

元気な

さやまっ子



語り継ぐ被爆体験者の平和への思い

5月13日(土)、水富小学校の6年生を対象に、平和事業の一環として「平和を願う講演会」を開催しました。



講師は、原爆投下時に広島に住んでいて、現在は堀兼在住の中島寿々江さん。当時の状況や、戦争の悲惨さなど、中島さんから語られる、「原爆で負った心の苦しみや悲しみ」、「戦争は二度と起こしてはならない」という強い思いが、児童たちの心に届けられました。

原爆や戦争の恐ろしさを実感し、平和の尊さ、命の大切さを考える機会となったこの講演は、今後も市内の公立小・中学校で開催されます。

茶席で味わう日本の伝統文化

5月14日(日)／体験学習「茶席」(博物館)



博物館の茶室で、狭山の抹茶「明松」を使った茶席を体験。講師に作法や抹茶の点て方の手ほどきを受け、茶どころ狭山でお茶の文化を堪能しました。

甲冑を身にまとい、気分はまるで戦国武将

5月3日(祝)／若武者になろう(博物館)

重さ10kg以上の鎧兜を身にまとい、子ども達の無病息災を願う恒例のイベント。刀を構えた勇ましい姿が、記念写真に収められました。



28年度さやま市民大学地域ジャーナル講座

修了生がお届けします

さやま・レポート 狭山自慢②



毎年6月に新狭山の中原公園で開催される「あじさい祭り」。この祭りには、多くの外国人が参加します。それもそのはず、川越

狭山工業団地で働く外国の方と、地域の住民とが交流し、親睦を図ることを目的に始めた「国際交流の集い」が発展したイベントだからです。

祭りでは、踊りや演奏などのステージ発表が行われ、外国料理などの模擬店も出店します。ヨルダン人のガッサン・ディアブさんは、中東料理のケバブをソースから手作りし、来場者に本場の味を振る舞ってくれます。

来場者の目を楽しませてくれる紫陽花は、地域の住民で組織する「あじさいサポート隊」が一年間手入れをし、毎年鮮やかな花を咲かせています。紫陽花を愛でたり、国際色豊かな食べ物を食べたり、楽しめそうですね。

◆「第25回あじさい祭り並びに第28回国際交流の集い」
日時6月18日(日)、9時30分～14時30分(雨天決行) 場所中原公園(新狭山2丁目) 問合せ新狭山公民館へ☎2953-9034

簡単そうで奥が深い蕎麦の道

5月23日(火)／手打ち蕎麦講習(柏原公民館)

自分で食べるために、誰かにごちそうするために…さまざまな思いで参加した男性10名は、想像以上に力が必要で、繊細な作業であることを実感。不ぞろいの蕎麦を見比べながら、笑みがこぼれていました。

生地を伸ばすように、慎重に



北欧発祥！ポールを使った健康ウォーキング

5月27日(土)／ノルディックウォーク教室(智光山公園)

二本のポールを交互に突きながら歩くスポーツ。膝や腰への負担が少なく、体力に自信のない方でも無理なく始められます。参加者は、新緑の中でリフレッシュしながら、ウォーキングを楽しみました。



自然を観察しながら歩くのも魅力の一つ

暑い夏に向けて2kgのダイエット

5月3日(祝)／ヒツジの毛刈り(こども動物園)

羊毛を収穫するためにフェルト状の被毛に改良され、自然に抜け替わることがないヒツジの衣替え。家族連れが見守る中、飼育員がバリカンを使い、慣れた手つきで2kgを刈り上げました。子ども達は、はさみで毛刈りを体験。ヒツジもクールビズに変身です。



毛を刈るようすを見て、「わぁ！」「痛くないの？」と興味津々



あなたが写っていませんか？広報さやまに掲載した写真は、広報課で撮影したものでしたら無料で差し上げます。広報課までご連絡ください。

バラが奏でる色彩と芳香のハーモニー

5月13日(土)～31日(水)／春のバラフェスタ(都市緑化植物園)

80種700株ものバラが咲き誇り、華やかな雰囲気にもまれた園内。訪れた人たちは、記念撮影をしたり、芳醇な香りを楽しんだりして春バラを満喫しました。19日と20日の夜間には、ライトアップ「ローズナイト」も開催され、バラたちは一段と輝きを放っていました。



視線の先には大輪のバラ。芳しさに惹かれます

おかあさん、いつもありがとう

5月13日(土)／親子で楽しむ母の日プレゼント(堀兼公民館)

母の日を前に、小学生とその保護者がフラワーアレンジメントに挑戦。日ごろの感謝の気持ちを込めながら、カーネーションやカスミソウなど、思い思いの花をあしらひ、世界に一つだけの素敵な母の日のプレゼントが完成しました。



メッセージカードも添えて感謝の気持ちを伝えます